

令和3年度地域と市長のまちづくり懇談会 前芝校区

開催回次	令和3年度第16回	開催月日	12月19日	開催校区	前芝校区	開催場所	前芝校区市民館
議 題				市の回答			
<p>1. 前芝校区4町の住みやすく、安全なまちづくりについて</p> <p>① 住みやすいまちづくりについて</p> <p>前芝校区は、少子高齢化が進んでおり、学校の児童数も減少し、自治会加入件数も減少してきています。それらの問題を解決するためには、公共設備や道路等のインフラを整備し、住みやすいまちづくりが必要であると考えます。例えば、ドラッグストアなどの誘致も効果があると考えます。</p> <p>市としての、まちづくりの取り組みをお聞きかせください。</p>				<p>都市計画課</p> <p>①</p> <p>前芝校区は、土地区画整理事業や下水道事業などにより、道路や下水道、公園などのインフラを整備し、生活環境の向上を図ってきており、過去5年の校区の人口は、微増傾向で推移しております。現在、名豊道路の一部区間が、未開通となっており、前芝交差点が渋滞するなど、地域の皆さまにおかれましては、ご迷惑をお掛けしているところではありますが、全線開通した際には、渋滞の緩和が図られると考えております。国は、順調に整備が進めば、令和6年に全線暫定開通の予定としており、引き続き開通に向け確実な事業推進の要望を行ってまいります。</p> <p>一方、校区内の市街化区域では、ドラッグストアをはじめとする商業施設の立地が可能であり、特に国道23号沿道などは、生活に必要な店舗などの誘導が促されることを期待しております。</p> <p>今後、住みやすいまちづくりを維持していくために、住民の移動手段として運行しているしおかぜバスについても、地域の運営協議会との連携を図るとともに、運行を継続して支援し、まとまりのある都市づくりを進めてまいりたいと考えております。</p>			

② 安全なまちづくりについて

南海トラフ地震発生による被害が危惧されている中、防災及び減災対策をどのようにするか、現在、想定している避難所のあり方でよいのでしょうか。

防災危機管理課

②

南海トラフ地震の被害予測として、三河湾には最短で約80分後に最大約2.9メートルの津波が想定されています。

津波から命を守るための避難には2つの方法があります。1つは海とは反対方向の内陸地へ水平避難することです。南海トラフ地震の臨時情報が出た場合など避難に時間的余裕がある場合は、浸水想定区域外にある別の校区の避難所へ避難することも差し支えありません。

もうひとつの避難方法は垂直避難です。避難する時間がない場合は、近くの頑丈な建物のより高いところへ避難する必要があります。そこで、本市としては、避難に時間のかかる方や逃げ遅れた方が緊急的に避難する場所として昨年3月、梅敷地区に津波防災センターを整備しました。また、消防署前芝出張所を移転新築し、津波避難ビルとして指定しました。

津波避難ビルは、ほかにも指定避難所となっている校区市民館や小中学校、市営前芝住宅など前芝校区内に10カ所指定していますので大きな揺れを感じたら迅速な避難行動をとってください。

また、前芝校区には住宅密集地で道路狭隘の地区が多いことから、特別防災地区に指定し、火災に備えた簡易消火栓の設置や宇塚公園に60トンの飲料水兼用耐震性防火水槽を整備しています。

避難が必要な災害が発生する恐れがある場合、自主的に行動していくことは大切ですが、市からは防災無線やラジオ、メールなど複数の伝達手段を用いて適切なタイミングで避難情報をお知らせしてまいりますので、迅速で安全な避難行動に繋がっていただければと思います。

開催回次	令和3年度第16回	開催月日	12月19日	開催校区	前芝校区	開催場所	前芝校区市民館
議 題				市の回答			
<p>2. 学校の生徒減少による他校区との合併の可能性</p> <p>少子化が進み、小学校の児童数(中学校の生徒数)が減った場合の、統廃合の可能性について、どのように考えているかお聞かせください。</p>				<p>教育政策課</p> <p>豊橋市では、平成25年3月に策定しました「学校規模の適正化に関する基本方針」において、「学校の統合」を行うひとつの基準として「複式学級」となることと定めております。複式学級とは、2つ以上の学年で構成される学級のことで、愛知県の基準では、小学校において児童数が1・2年生で7人以下、3・4年生及び5・6年生で14人以下になった場合に複式学級となります。中学校においては、生徒数が2つの学年を合わせて8人以下になった場合に複式学級となります。</p> <p>前芝小学校の児童数は、令和3年5月1日現在で200名となっており、出生を加味した令和9年度の推計も200名程度で現状と変わらないことが見込まれています。なお、前芝中学校の生徒数についても、令和3年度は104名で、令和9年度も同程度で推移することが予想されています。</p> <p>こうした状況の中で、小中学校ともに、どの学年においても30～40人程度で構成される予定であるため、近い将来に「複式学級」となる可能性はありません。</p> <p>本年度より、どのように地域の特色を生かした魅力ある教育を推進していくことができるのかを、地域の方と一緒に考えていく第一歩として、「地域教育懇談会」を中学校単位で開催しています。前芝校区は、来年度に開催する予定となっており、どのような教育が子どもたちにとって真に望ましいかについて、意見交換をさせていただきたいと考えています。</p>			

